

教育長あいさつ要旨

菊地和郎

○感謝 何とか学校再開にこぎつけました

改めて学校を回ってみて感じたこと：子供は宝、学校は宝

1 検討委員会の意義

急激な少子化にともなう、不安や統合を望む声、一方で地域の社会生活や文化の中心としての学校の価値の葛藤。こうした状況を踏まえて、これからの村山市の子供たちにとって、また地域や市の将来にとって、どのような小学校の配置が望ましいか、多面的な立場から検討していただきたい。

2 多面的な立場から：3つの大きなテーマ

- ① 今回 「今後の学校施設整備・維持と市の財政の問題」
- ② 次回 「子供の数の減少を踏まえた、学校規模と子供の学びの問題」
- ③ 次々回 「地域生活と、地域文化と学校教育の問題」

3 活発な議論にするために

- ① 毎回、保護者代表・公募委員2～3名に5分程度の自由な意見発表を
- ② テーマについての話し合い グループ討議＋全体討議の2段階で
- ③ 会議の最後に、ふりかえりカードの記入を

*会議記録の保存方法について